

## 水道給水装置工事のよくある質問

### Q. 給水管の承認材料は？

A. メーターより1次側(上流側)は主にHPP-E又はPP(1種2層管)、  
2次側(下流側)は1次側に加えて、HIP(屋内は不可)、VD、  
VB、XPEP(屋内のみ)、PBP(屋内のみ)等を承認しています。

### Q. 長距離の道路縦断の引込みについて、取出し口径を大きくする必要があるか？

A. 配水管分岐から末端給水用具まで50m以上配管する場合には口径増大を推奨しています。実際の口径は水理計算により決定してください。

### Q. 既設管がある場合、取出し直しする必要があるか？

A. 既設管がVP管の場合は取出し直しを推奨しています。

### Q. 他人の土地に配管してよいか？

A. トラブル防止のため申込者本人の土地又は申込者本人の賃借権が登記されている土地等へ配管をお願いしています。

### Q. 連合管で配管してよいか？

A. トラブル防止のため原則1敷地1取出しありでお願いしています。既存連合管からの取出したい場合は、窓口で取出し可能かを確認後、連合管の所有者からの同意を得たうえでの申込をお願いしています。

### Q. 集合住宅等でメーターを例えば10個設置したい場合、メーターオン、取出し口径はいくつにしたらよいか？

A. 計画同時使用水量によりメーターオン口径を決定し、水理計算により取出し口径を決定してください。窓口で取出し可能かを確認してください。

**Q. 集合住宅等の水理計算確認書は親（管末）の申込だけでよいか？**

A. 圧力の損失が最大になる部屋（最上階の管末等）の水理計算確認書を親（管末）の申込書に添付してください。

**Q. 集合住宅等で複数メーターをまとめて申込してよいか？**

A. 1メーターごとに申込してください。

**Q. 水理計算は今まで会社内でやっていたものや他市の計算を使用してよいか？**

A. 今まで通りの計算で構いません。配水管の計画最小動水圧は0.20 MPa、所要水量及び余裕水圧は給水用具メーカーが設定している最低必要水量及び水圧で計算してください。

**Q. 計画同時使用水量はいくつに設定したらよいか。**

A. 計画同時使用水栓の給水用具メーカーの使用水量で算出してください。

**Q. 連合管からの分岐の場合、水理計算は当該分岐からでよいか？**

A. 配水管の分岐から水理計算してください。

**Q. どういう用途で使用する場合に受水槽の設置が必要か？**

A. 公共施設、福祉施設、飲食店（食堂を含む。）、宿泊施設、美容室、病院、歯科医院等の営業で水を使用する場合は、既存が直結であっても原則受水槽の設置が必要です。